

# 厚生常任委員会活動レポート

開催日：令和5年10月19日(木)

開催場所：1・2号委員会室

## 町民生活部

### 1. 住民生活・環境衛生事業について（地熱調査について）

事業者である株式会社町おこしエネルギーによるヒートホール調査が、9月15日に国有林内に現地入りし、22日から掘削作業が開始され、11月末終了の予定との報告を受けました。

#### 【主な質疑】

委員：最終的には発電を目的としていますか？

担当：蒸気による発電施設建設を目的としています。

委員：蒸気は何℃くらい必要ですか？

担当：100℃以上が必要で、11日現在、360mを掘削し50℃程度で想定どおりの結果となっています。結果次第では、更に1～2本の掘削になります。現在、函館市でも同様の作業を先行して実施していますが、順調に進んでいると聞いています。

委員：発電施設の建設もこの事業者が行いますか？

担当：はい。掘削地に近いところに予定しています。国有林内と思われます。

委員：以前にも同様な調査を武佐地区、養老牛地区で行われていますが、期待する蒸気が出る可能性は低いのですか？

担当：標津町でも実施され温泉のみで、知床連山地域のポテンシャルは高いと言われながら結果に繋がっていない現状です。今回の武佐地区は今までよりも期待値が高いため、継続調査と建設に向けて進む予定と思われます。

委員：発電施設を建設するデメリットはないですか？

担当：景観や樹木伐採等は懸念されますが、建設費や固定資産税等のメリットになる点も多いと認識しています。雇用も含め地熱発電に期待できることから様子を見ていきます。

委員：町としては事業者への許可等の関係は出てきますか？

担当：保安林では北海道、国有林では国での許可となっていて、町の許可が必要となることはありませんが、反対運動等には注視していきます。

委員：クテクンベツ川へ蒸気処理水や高温の凝縮水を放流した場合の影響が焦点となると思いますが、環境破壊も少なく持続可能な事業となりえると考えます。風力発電による環境問題などと同様に注視してください。

担当：地下の熱水は100℃から200℃となるため、処理の方法など影響が出てくると思われます。10月27日に業者が来庁予定ですので、現地確認も含め、後日改めて報告します。